

武蔵野市すくすく泉事業採択・評価庁内委員会

(令和7年度)

議事録

日時：令和8年3月9日（月）

場所：武蔵野市役所 412 会議室

武蔵野市すくすく泉事業採択・評価庁内委員会（令和7年度）

○日 時 令和8年3月9日（月） 午後7時30分～午後7時40分

○場 所 武蔵野市役所 412 会議室

○出席委員 勝又委員長、吉野委員、深澤委員、寺井委員、白石委員

○事務局 子ども家庭支援センター 地域子育て支援担当

【委員長】

それでは、これより採択・評価庁内委員会を始めます。先ほどの有識者懇談会の助言を踏まえ、今年度の補助事業が適切に実施されているか否か、次年度の事業計画について問題や課題が無いかを審議していただきたいと思います。また、必要な意見を付すべきか否かについてもご審議をお願いします。なお、先ほどの有識者懇談会では、「令和7年度において事業計画に基づいた事業を実施しており、令和8年度について妥当な事業計画が立てられている。」という意見をいただいています。それを踏まえてご審議をお願いします。一人ずつご意見をお願いいたします。

【委員】

今、委員長からあった有識者懇談会意見のとおりと理解しています。事業者の報告からNPOの姿勢を感じました。評価としては素晴らしいと思います。

【委員】

事業者の説明を聞いて、適切に事業運営されていると思いました。相談について、いずみの会も苦慮されていると意見があったので、行政・関係機関とも連携していればいいと思います。事業は適切だと感じました。

【委員】

令和7年度の事業は計画に沿って実施されています。令和8年度についても適切に計画されています。「だれでも通園制度」が令和8年度からはじまりますが、いろいろなものが押し押しのなかで始まるので、市としても連携しながら支援していきたいと思います。

【委員】

立ち上げのときから見ている団体なので、常勤の職員が増えたり、収支も増え、大きな団体になったと実感しました。なかでも、もともとあった泉幼稚園の「地域の方と協力」という理念を実行できているのが良いと思います。このまま継続してほしい。松田委員から意見があった利用者支援事業の件は、今後考えていく必要があると感じています。

【委員長】

すくすく泉は要対協には入っていないが、地域子育て支援拠点施設として相談して良いので、壁を作らず、自分たちで抱えずに気軽に市に相談してほしいです。事務局とも関係性ができていると思うので、いろいろと話をしてほしい。利用者支援事業の件は、こども家庭センターができてから仕組みが少し変わり、枠の外にでてしまったという経緯がありました。少し制度が変わりましたが、内容は変わらないので相談はうけてほしい。「各施設が相談支援を行って良いのではないか」という意見がありましたが、各施設がその重さを受けきれぬのかという心配もあるので、現行の3施設が各施設を支える形をとっています。

【委員長】

それでは、まとめたいと思います。

今年度の事業実績と次年度の事業計画については、「令和7年度の補助事業が適切に実施されており、令和8年度についても妥当な事業計画が立てられており、引き続き計画に基づいて事業を実施してもらいたい。」ということによろしいでしょうか。

【その他委員】

異議なし。

【委員長】

それでは、採択・評価庁内委員会の意見として、次のようにまとめたいと思います。「令和7年度において事業計画に基づいた事業を実施していること及び令和8年度について妥当な事業計画が立てられていることを確認した。引き続き計画に基づいて事業を実施してもらいたい。」

【委員長】

以上を持ちまして本日のすくすく泉事業採択・評価庁内委員会の会議を終わります。ありがとうございました。